

## 光触媒(二酸化チタン)(ひかりしょくばい) | Photo catalyzer

紫外線の照射によって反応を促進させる触媒で、光触媒に使用される物質は二酸化チタン( $\text{TiO}_2$ )であり、窒素酸化物、アルデヒド、油汚れなどの有機物の分解から大腸菌の分解まで使用される。最近、水や空気の浄化など実社の分野まで幅広く利用される様になった。二酸化チタンは光を吸収すると空気中の酸素を活性化して、その酸化力で有機物を水と二酸化炭素に分解する。また、二酸化チタンは親水性が高いため、二酸化チタンを混入させた塗装面などに油よごれが付着しても雨水に当たると有機物が容易に剥がれるという自己洗浄作用があるので家屋のペンキなどに好んで用いられている。

(古澤)